

電池切れによる海洋汚染データ消失の恐れ

こちらは、英文記事「[Flat batteries may erase your MARPOL data](#)」（2019年8月6日付）の和訳です。



ポートステート検査では、ビルジアラームのデータと油記録簿の数値の照合が行われますが、その際にデータが利用できないと、船の不備とみなされる恐れがあります。こうした事態に陥って出航に遅れを生じさせずに済むように、以下にご紹介する最近の関連事例を参考にしてください。

[IMO（国際海事機関）のガイドラインによると](#)、15ppm ビルジアラームは、アラームの日時とステータス、そして 15ppm ビルジ分離装置の作動状況を記録することとされています。さらに、少なくとも 18 カ月間はその記録装置にデータを保存し、公式検査の際には必要に応じてプロトコルを表示または印字しなければなりません。15ppm ビルジアラームを交換した場合には、記録されたデータが 18 カ月間は船上で参照できるよう対策を講じる必要があります。

米国沿岸警備隊の検査官は、最近のポートステート検査において、4 隻の船で 15ppm ビルジアラーム装置に関連した MARPOL に関する不備を発見しました。検査官が指摘したのは、船舶の油記録簿の数値が 15ppm ビルジアラーム（油分計）の示すデータと合致していなかった点です。

米国沿岸警備隊は、これらの各ケースについて、ポートステートの不備指摘事項通知を発行し、指摘された点について認定保安団体、船舶管理局、さらに米国沿岸警備隊の基準に沿って出航前に是正するよう求めています。

さらに調査を進めた結果、これらのケースでは、ビルジアラームモニターの一部が旧式のものであったことが判明しました。この電池は機器の耐用期間中は持続するよう設計されており、15ppm ビルジアラーム装置の回路基板の内背部に取り付けられていたものです。製造元の取扱説明書によると、主電源が故障しさらに予備用電池の電圧も低い場合、本体が遮断されエラーメッセージが表示される仕様になっています。

これら 4 ケースのすべてにおいて、電池の電圧が極端に低くなっており、保存されていたデータを確実に保持するために必要な 2.5 ボルトを供給することができていませんでした。その結果、LCD 画面に表示されたデータが不正確なものになってしまっていたのです。

新型のモデルでは、保存されているデータを数時間保持するのに十分な電力を供給するコンデンサが搭載されており、予備用電池の交換にも対応可能になっています。

警告と推奨事項

米国沿岸警備隊は、[2019 年 7 月 31 日付の Safety Alert](#) においてこうした情報を発表し、15ppm ビルジアラーム装置に保存されているデータを定期的に見直し、油記録簿に記録された情報や実際の湯水分離器の作動状況とそのデータが合致していることを確認することを、船主と運航者に強く推奨しています。機器を交換した場合には、そのデータが 18 カ月間は船上で参照できるよう対策を講じる必要があります。

海洋汚染状況の調査を担うポートステートコントロール検査官は、15ppm ビルジアラーム装置がデータを正確に記録し油記録簿の値と合致しているかどうかを検証しています。ポートステートで罰金や出航遅延などに遭わないようにするためにも、メンバーの皆様はこのことを忘れないようにしてください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。